

超簡易型ネットハウスを利用した小ギクの 難防除害虫対策と減農薬栽培の取り組み



オオタバコガの幼虫

超簡易型ネットハウス



食害のあと



ネットハウス内の美しい小ギク

平群町は全国有数の小ギク産地ですが、難防除害虫である「オオタバコガ」の幼虫がギクを広範囲に食害して品質を大きく低下させており、また防除労力負担も大きいことから対策が強く求められています。そこで、オオタバコガが圃場に侵入するのを防ぐため、県農業総合センターが開発した超簡易型ネットハウス

(ネット被覆防虫施設：10アール当たり約30万円と超低コスト)の実用性試験を現地で行いました。その結果、非常に高い防虫効果を確認するとともに、薬剤散布回数や散布量の大幅な削減による防除作業の省力化や環境への負荷軽減効果も確認することができました。今後は、導入メリットが非常に大きいネットハウスの産地全体への普及に取り組んでいきます。

